

## **1 RILEM TC 162 - TDF (鋼繊維補強コンクリート(SFRC)の設計及び試験方法)の概要**

### **1. 活動目的**

下記のとおり2つのタスクグループで活動している。

A : SFRCに関する試験方法

- ・ 曲げ強度及び靱性
- ・ 引張強度
- ・ 亀裂に対する抵抗性(亀裂防止、亀裂幅の低減)

B : SFRCに関する設計方法 - 適用

- ・ 材料設計法
- ・ SFRCの適用事例に対する特別の設計方法

### **2. 活動計画**

設立 : 1994年9月30日 / 第一回会議 : 1995年4月21日 / 活動期間 : 3 ~ 4年

### **3. メンバー**

委員長 : Prof. Dr. Ir Lucie Vandewalle(Belgium)

幹事 : Dr. Dirk Nemegeer(Belgium)

委員 : L.Balazs(Hungary), B.Barr(UK), J.Barros(Portugal), P.Bartos(UK), N.Banthia(Canada), M.Criswell(USA), E.Denarie(Suisse), M.D.Prisco(Italy), H.Falkner(Germany), R.Gettu(Spain), V.Gopalaratnam(USA), P.Groth(Sweden), V.Hausler(Germany), A.Kooiman(Netherlands), K.Kovler(Israel), B.Massicotte(Canada), S.Mindess(Canada), H.W.Reinhardt(Germany), P.Rossi(France), S.Schaerlaekens(Belgium), P.Schumacher(Netherlands), B.Schnutgen(Germany), S.Shah(USA), A.Skarendahl(Sweden), H.Stang(Denmark), P.Stroeven(Netherlands), R.Swamy(UK), P.Tatnall(USA), M.Teutsch(Germany), J.Walraven(Netherlands)

### **4. 期待される成果**

同TCの研究成果である、SFRCの曲げ試験方法の最終推奨案が、RILEMの機関紙(Materials and Structures, Vol.35, November 2002, pp.579-582)に掲載されている。同成果をもって、同TCの活動は終了した模様である。

## **2 RILEM TC URM (建設業におけるリサイクル材料の使用)の概要**

### **1. 活動目的**

- ・ 材料特性、並びに総合的調査及び現場実験に基づいた改良及び清浄化工程の検討
- ・ 環境及び健康的観点を重要視
- ・ 研究対象材料としては、石材、金属及び木質材料などの構造用材料、並びに断熱材、

屋根材などの仕上げ材料

## 2. 活動計画

- ・ 設立：2001年9月13日 / 第一回会議：2002年1月21日 / 活動期間：4年
- 第1年目：リサイクル材料に関する知識及び経験の集約  
リサイクル効率決定モデルの開発
- 第2年目：各種リサイクル例に対するモデルの適用及び実証
- 第3年目：基準案の策定
- 第4年目：最終報告書の作成及びリサイクル材料に関する国際会議の開催

## 3. メンバー

- ・ 委員長：Prof. Charles Hendriks (Netherlands)
- ・ 幹事：Ms. G.M.T. Janssen (Belgium)
- 委員：R. Collins (UK), F. Collins (Australia), S.W. Danielsen (Norway), A. Goncalves (Portugal), A. Henrichsen (Denmark), D. Hughes (United Kingdom), T. Hakkinen (Finland), Y. Kasai (Japan), A. Katz (Israel), J. Kropp (Germany), A. Leuridan (Belgium), J. Mehus (Norway), C. Molin (Sweden), A. Muller (Germany), D.J. Naus (USA), B. Persson (Sweden), C. Poon (China), G. Poteras (Romania), M. Rubaud (France), E. Vazquez (Spain), P.J. Wainwright (UK)

## 4. 期待される成果

- ・ 原材料の使用抑制および埋立用廃棄物の低減
- ・ 解体及び建設廃棄物のリサイクルに関する決定を行うために使用可能なモデルの開発
- ・ リサイクル選択肢の仕様に関する指針

## 3 RILEM TC ISA (内的硫酸塩作用) の概要

### 1. 活動目的

エトリンジャイトの遅れ生成に関する

- ・ 文献及び現場データの収集
- ・ メカニズムの解明
- ・ 「技術の現状」報告の作成
- ・ 指針（劣化分析、事例における限界値、必要な研究など）の作成

### 2. 活動計画

- ・ 設立：1996年9月27日 / 第一回会議：1997年 / 活動期間：3～4年

### 3. メンバー

- ・ 委員長：Dr. J. Skalny (USA)

・ 幹事 : Dr.K.Scrivener(Switzerland)

・ 委員 : J.Bresson(France), P.W.Brown(USA), S.Diamond(USA), B.Erlin(USA),  
J.Gebauer(Switzerland), J.Marchand(Canada), J.Olek(USA), M.Ratnam(India),  
V.Sirivivatnanon(Australia), M.D.A.Thomas(Canada)

#### **4 . 期待される成果**

- ・ 用語および関連文献の整理
- ・ 適正な / 改良したコンクリート設計および / あるいは加工
- ・ シンポジウム ( 可能であれば、現場専門技術者の訓練 )

以上